

飯南

い
い
な
ん

第75号
令和5年10月20日

- 2 9月議会報告
可決した主な議案
- 3 決算審査特別委員会
令和5年度各会計補正予算
- 4-8 一般質問
- 9 研修報告／採決の結果
- 10 常任委員会報告／議会活動報告
- 11 常任委員会報告／全員協議会の議題
- 12 明日を拓く



令和5年

9月定例会を終えて

9月11日から22日までの12日間で開催

「住み慣れた飯南町でいつまでも自分らしく暮らし続けるための地域づくり」を目的に、高齢者福祉基本計画を検討するための委託料など827万円が予算化された。従業員数でみると、医療・福祉は町の一大産業と言えるが、介護人材の確保に苦慮している。人材育成の仕組みや教育体制を構築し、働きやすい職場づくりが求められる。

商工会が導入する「いーにゃんPAY（地域通貨・地域ポイント）」への、住民の加入促進を支援する（1308万円余）。地元経済の活性化につながることを期待する。

学校給食会への補助金増額は、牛乳や米の食材費高騰分を補うもので、家庭の負担をかえず、給食の質も落とさない対応であり、子育てしやすい町づくりへの姿勢が感じられた。

一般質問では2人が町立小学校のいじめ事案を取り上げた。



神楽の秋が来た

飯南高校神楽愛好会結成5周年記念公演が、ふれあいホールみせんで開催されました。会場には約400人が来場し、熱気に包まれたすばらしい公演となりました。

飯南高校神楽愛好会記念公演より

可決した主な議案

条例関係

飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例など4件

承認

令和5年度飯南町一般会計補正予算(第3号)

予算

令和5年度飯南町一般会計補正予算(第4号)など7件

諸議案

雲南市・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約など2件

報告

令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告など2件

決算審査特別委員会を設置

令和4年度飯南町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。12月定例会で審査結果を報告する。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 景山登美男 |
| 副委員長 | 安部誠也 |
| 委員 | 伊藤好晴 |
| 委員 | 高橋英次 |
| 委員 | 平石玲児 |
| 委員 | 戸谷ひとみ |

令和5年度 各会計補正予算

雲南広域連合のふるさと基金廃止による出資金返還金を財源としたまちづくり基金積立金1億1778万円の増額、商業活性化重点支援事業(ガソリンスタンド支援、いーにゃんPAYポイント付与)1928万円の増額、財政運営を改善するための繰上償還6770万円の増額など

一般会計 2億8257万円 増額

会計名	補正予算額	予算総額
一般会計	2億8257万円	77億1736万円
特別会計		
国民健康保険事業	8291万円	6億6134万円
後期高齢者医療事業	0万円	1億8381万円
介護保険サービス事業	32万円	3703万円
病院事業会計	7626万円	16億685万円
簡易水道事業会計	115万円	3億8244万円
下水道事業会計	0万円	5億1728万円

一般 質問

令和5年 9月定例会

農業振興どう考える

内藤 眞一 議員



6月議会で、東京農工大学大学院・JAしまね雲南地区本部と本町とで締結した産官学包括連携協定と、同大学院の増田アドバイザーが特許取得されている「もみ殻培土」について問うた。町長は、「JA雲南地区本部でも、もみ殻培土の効果を確認され、採算性など検討しているが結論には至っていない。生産、商品化の主体はJAと考えている」との答弁だった。その後どうなっているのか。農業はわが町の主要産業だ。良いものであれば積極的に導入すべきと思うし、予算措置も必要ではないか。いつまでも検討中と言っている訳にはいかない。今後どう進めていくのか。



もみ殻培土は、6月議会で答弁した後に、JAしまねが採算性や実用化を検討することになったと聞いている。製造、商品化の主体はJAという考えに変わりはしない。予算措置は導入・普及していく段階で検討も必要と思う。検討委員会を設置し、実用化検討を加速する。

町長 塚原隆昭

A 実用化検討を加速

Q 補助制度の住民周知見直しては

まちづくり推進課から町民千人に地球温暖化対策に関するアンケート調査が行われているが、「省エネ、再エネ製品購入にはこのような補助がある」「脱炭素に取り組むとこれだけのメリットがある」といった資料が示されており、大変良いと感じた。各種補助金にもこのようなまとめ方をした冊子があると便利で、活用も進むのではないかと。さらに補助金の説明もまちづくり推進課の全員ができるようにすれば、問い合わせに担当が不在とかいった無駄もなくすことができ、住民サービスが向上すると考えるがいかがか。

A ホームページフル活用して

町長 塚原隆昭

各種補助制度をまとめることはできるが、改定もされるので、都度冊子も改定していくことは難しい。そこで、町ホームページに各種補助制度をまとめ、説明を充実させ、変化する情報にも対応できるように取り組む。

補助制度の窓口を、まちづくり推進課に一本化する案も頂いたが、本町では住民課が転入転出時にワンストップサービスとして行っており、好評を得ている。

問い合わせにも担当課にスムーズにつなげ、各課において全員が対応できるように共有に務める。

いじめ事案への対応は

戸谷 ひとみ 議員



Q いじめと性犯罪防止の普及啓発を

相手が心や体に苦しさを痛みを感じたらいじめである。本人にいじめたつもりはなくても、いじめの加害者になる可能性はある。

また、遊びの中で局部やお尻を触る、スカートめくりやカンチョウなど、友達の体を悪気なく触ってしまい、触られたことで傷ついている子どもは日本中に多くいるように、幼い時の性被害は長く被害者を苦しめると聞いている。性犯罪は被害にあうだけでなく、悪気なくやってしまう「うっかり加害者」になることもある。

いじめや性犯罪を再認識してもらうため、大人にも普及啓発が必要では。

A 普及啓発を進める

教育長 大谷哲也

学校、家庭、地域が一体となった、いじめ防止や性犯罪に関する普及啓発を進める。

Q 学校説明会の開催を

町内の小学校で起こったいじめが原因で、学校に行きたいのに1年以上行けず、教育委員会の対応が不十分であると、被害児保護者が訴えたことが各種メディアで報道された。

「教育委員会の対応が不十分である」という悪い評判で、住んでいる町がニュースになれば、町全体が傷つく。子どもたちが町に誇りを持ってなくなるため、このような状態を長引かせてはいけない。全ての小中学校で、子どもや保護者向けに説明会をするべきでは。

A 開催しない

教育長 大谷哲也

プライバシーに配慮が必要であり、学校と連携して慎重に対応を検討しているため、個別の説明会を開催する考えはない。

Q 再調査を求める

被害児保護者は今「重大事態」の再調査を望んでいる。保護者との信頼関係を築く第一歩として、再調査をする必要があるのでは。

A 答申を尊重し再調査しない

町長 塚原隆昭

いじめ問題対応会議で慎重に審議し、当該保護者と代理人の意見を十分に聴取して答申が策定された。答申を尊重すべきだと考えており、現在のところ再調査する考えはない。

最終答申をまとめる前に代理人や保護者へ説明し、代理人からの意見書を受けて追加調査も行われた。答申に了承いただいたと思っ

重大事態…いじめにより児童等の生命・心身及び財産に重大な被害を受けた疑いがあると認められた事態



一般質問

令和5年 9月定例会



マイナ保険証の導入中止を

伊藤 好晴 議員



Q 「いじめ」克服のために
山陰中央新報が報道した本町内での「いじめ」は、町民に大きな不安と、学校・本町執行部に対する不信感を生じさせた。町民すべてが「いじめは許さない」という気質になって「いじめ」問題に取り組めば、「いじめ」は克服できると考える。地域住民への幅広い啓発を求める。本町独自の対策を講ずべきと思うがどうか。

A いじめのない社会を目指す
町長塚原隆昭
いじめは重大な人権侵害であり、学校のみならず地域全体で基本的人権を尊重し、誰もが平等に暮らせる社会を目指す。

「いじめ」克服のために

A 早期発見・解決に努力

教育長大谷哲也
当該校は懸命に対応してきたが、状況の改善につながつておらず、大変心苦しい。児童の気持ちに寄り添い、早期解決を目指したい。学校では、アンケートなどを行い、早期発見・早い段階での解決に心がけている。

Q 「マイナ保険証」中止を要求せよ

A 適切な対応を求める

本町のマイナンバーカードの保有率は何パーセントか。マイナンバーカードの制度は、任意で取得することを前提に導入された。岸田内閣は、来年10月には健康保険証を廃止、マイナンバーカードで代用するとしている。国民の反対は大きく、政府は打ち消しに躍起になっている。マイナンバーカードの取得は、あくまで任意を原則とすべきだ。本町の見解はどうか。「マイナ保険証」の導入は、保険証廃止を国民に強要し、マイナンバーカードの取得義務化につながる。個人の権利と個人情報保護の基本原理に反するものであり、「マイナ保険証」の導入中止を強く国に求めるべきだ。どう対応するのか。健康保険証の発行を続ける必要があるが、どう考えるか。



マイナンバーカード見本

町長塚原隆昭
本年9月3日現在、マイナンバーカード保有率は81.58%（3720人）である。マイナンバーカードの取得は任意と考えるが、マイナ保険証は「より良い医療の提供」が目的で、安心して利用できることが重要と思う。マイナンバーカードを保有しない人に対する適切な対応を要望していく。保険証を残すことは町単独ではできない。



有害鳥獣2610頭を捕獲

平石 玲児 議員

Q 有害鳥獣被害防止の取組みは

3年間で、いのしし2312頭、シカ255頭、熊43頭（錯誤捕獲）を捕獲。里山に出没する一部かもしれないが、少なからず住民の安心安全と、農地や山林の保全が図られている。今後、捕獲実施隊の猟友会が高齢化により負担が増加すること、シカによる被害の増大が懸念されることから、以下のことについて質問した。

- 1 出没状況、農地などの被害状況とその対策
- 2 被害法面等の補修と補償、新規対策
- 3 担い手確保のための助成
- 4 シカに対する防護柵等の検討、森林環境贈与税の交付金
- 5 猟友会実施隊のみならず、地域住民の協力も必要では
- 6 猟友会の高齢化対策
- 7 捕獲した鳥獣の処理状況

A 計画に基づき対応

町長塚原隆昭

1 捕獲頭数

年度	いのしし(頭)	シカ(頭)	熊(頭)
令和2	1,165	62	28
令和3	489	78	6
令和4	658	115	9

被害状況

令和4年度の水稲共済の被害額は、(水稲)252アール・被害額93万4千円だった。(農業共済で保証されていない被害面積は、もつと多い) **事業実績(対策)**
2 多面的機能支払交付金や、中山間地域等直接支払制度を活用して対応してほしい。

2 事業実績

種類	実績
ワイヤーメッシュ柵	120km
電気柵	110km
箱 罠	157基

- 3 わな等の購入・免許取得にかかる経費は、中山間地域等直接支払制度で対応してほしい。
- 4 新規要望や対策が必要な場合、設置支援事業を再開。シカ対策は鳥獣被害防止総合対策事業にメニューを追加する。さらに森林環境譲与税交付金の活用も含めて、制度設計を考える。
- 5 自治会など、町全体での取り組みが必要。鳥獣対策の現状と知識を深めるため、広報等での周知や地区研修会を開催し、鳥獣対策の普及協力を図る。
- 6 広報5月号の特集記事で若者の狩猟者を紹介した。気軽に情報が入手できる



錯誤捕獲された熊

錯誤捕獲…捕獲対象以外の鳥獣が誤って捕獲される事をいう。

7 ジビエ活用の広域連携はない。処理加工施設で、年間30から40頭程度のイノシシを処理。焼却・埋設については、近隣市町と情報を共有している。よう、SNS等での発信を考えている。高齢化対策及びシカ対策で、県と協力してICTを導入活用している。

一般質問

9月定例会

今後の福祉行政の方向は



高橋 英次 議員

Q 消防水利は万全か

「飯南町地域防災計画」での消防水利の整備では、調整池・ダムを有用な水利とし、それを把握すると共に、河川水等自然水利、防火水槽、水泳プール・ため池等を活用し、消防水利の多様化を図り適正配置に努めるとあるが、現在の状況は適正で、住民の安心安全を十分に担っているとの認識か。

A 適切な配置と理解

町長塚原隆昭
現在の配置状況は適切だと思っているが、河川からの消防水利については、台風等で消失している場所や、防火水槽の中には40年経過しているものもある。
確認を行い、迅速な消火活動が住民の安心安全につながるようしっかり取り組む。

Q 今後の消防水利整備計画は

本町には防火水槽89カ所、消火栓11カ所、その他プールが8カ所ある。
今後の防火水槽設置を含む消防水利等の整備計画は。

A 計画はないが調査で確認

町長塚原隆昭
現在、防火水槽の設置計画はないが、水利状況の調査確認を行い、水利の不十分な地域には、防火水槽・消火栓などの整備を考えたい。



防火水槽(下赤名)

Q 霊柩車貸出事業と福祉事業の今後は

社会福祉法人飯南町社会福祉協議会では、運営している霊柩車貸出事業の霊柩車が老朽化し、車両更新を計画した。

中国陸運局島根運輸支局に事業の運営について相談を行ったが、事業運営にはハードルが高いとの回答のため、事実上困難と判断した。
今後の対応を町と協議したが、町の支援は困難との回答が出た。

飯南町の福祉事業推進を図る最高責任者として、最終的な判断を問う。

A 熟考を重ねた判断

町長塚原隆昭
許可を受け事業としての実施が必要
業者委託はできない
車両、車庫の整備、運転手、運行責任者の配置等の問題
公平性、利用料の徴収

Q 福祉事業への取り組み姿勢は

今回の事業を踏まえ、財政面や費用対効果、それに伴う福祉事業の取捨選択を含め、今後の福祉事業全般への取り組みをどう進めるのか。

A 福祉サービスは必ず維持

町長塚原隆昭
「飯南町高齢者福祉基本計画」を策定中だ。住民のニーズに沿った本町に必要な福祉サービスは必ず維持していく。

他に地震災害時の消火活動に関する質問がありました。

議会広報常任委員会

研修報告

8月25日(金)

島根県市町村議会 広報研修会

研修会では、越地真一郎氏による「読む！質す！生かす！」創意、熱意の取り組みに学ぶ」と題する講演を拝聴する。

講演では、読者の気を引くことの重要性を学んだ。リード文の出来不出来は、読む・読まないに直接かかわること、とても重要なことと感じた。大いに工夫しなければならぬ。

後半で各市町村が発行した議会広報のクリニック(診断)が行われた。

あらかじめ議員に広報を読んでもらい、疑問点や意見などを募集し、当日会場で、委員長・副委員長が会議室の前に進み、それに答えるという形で行われた。初めての経験だった。

本議会の広報は、全体として読みやすいと好評であったが、何点か指摘されたところがある。独自のルールや方針もあるが、今後の課題として取り組むたい。

9月26日(火)

町村議会広報研修会 (全国研修)

3人の講師から「広報担当者が知っておきたい法律知識」「なるほどそうか：知ってよかった！読者を夢中にさせる広報紙づくり基礎の基礎！」「パツと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座」を学んだ。今までより読みたくなるデザインと、わかりやすい文章になるよう努める。

中高生から寄せられた質問に答える企画をやってみたいと思う。町のことに関心を持つきっかけをつくることで、飯南町愛を育む議会報「飯南」になれば良いと思う。



全国研修で

採決の結果 [9月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	熊谷兼樹	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部 丘	平石玲児	戸谷ひとみ
専決処分の承認を求めること(令和5年度飯南町一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定新型インフルエンザ等により生じた事態に対処するための飯南町職員の特殊勤務手当の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南市・飯南町事務組合規約の一部を変更する規約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南市・飯南町事務組合と奥出雲町による一般廃棄物(ごみ)の処理施設に係る調査及び研究に関する事務委託の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 欠:欠席



島根県種畜共進会にて

教育経済 常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：戸谷ひとみ
委員：伊藤好晴 内藤真一 平石玲児



総務厚生 常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部誠也
委員：早樋徹雄 高橋英次 安部 丘



「琴引の里」裏山の法面崩壊現場を確認

専決処分(飯南町一般会計補正 予算(第3号))の承認を求める

農林水産業施設災害復旧費 450万円
公共土木施設災害復旧費 160万円

6月28日から7月11日の間に発生した豪雨災害の応急復旧と測量設計に要する経費。

令和5年度 飯南町一般会計補正予算(第4号)

商業活性化重点支援事業 1928万円
内〈ガソリンスタンド支援〉 620万円

県の支援制度を活用し、地下タンクのコーティング1件、燃油配送車両の購入1件を町が実施主体となり行う。

内〈い〜にゃんPAYポイント付与〉 1308万円

い〜にゃんPAYの運用が始まるタイミングに合わせ、配布する電子カードにポイントを付与するための費用。

売り上げに対する2%の加盟店負担、月額千円の会費、チャージされた現金の納入等負担が大きいと、加盟店が限定的になるのではないかと懸念があり、担当課からは、この事業の目的は、お金の町内循環継続であり、事業主には積極的に参加して頂きたいとの説明があった。



利用申込書と一緒に送付する
い〜にゃんPAYカード
(人形は付きません)

学校給食臨時管理費 166万円

給食の食材高騰に対応し、給食会への補助金を増額。

委員から、今回の増額補正で、本年度の給食材料費が賸るのか。給食費の値上げはどのように考えているのか等の質疑があった。

今回の増額補正は米と牛乳の値上がり分で、さらなる高騰があれば、町の補助で対応し給食費の値上げは考えていない。



給食調理中(給食センター)

令和5年度 飯南町一般会計補正予算(第4号)

【歳入】
利子及び配当金 1億452万円

平成13年度に雲南圏域旧10カ町村の出資金と県補助金、合わせて8億円を積み立てた「雲南地区ふるさと市町村圏振興事業基金」は、その役目を終了したことから、この基金を廃止し、出資割合に応じて構成市町に返還される。

【歳出】
定住促進住宅整備事業 165万円

八神里山住宅における、水路への転落防止柵設置費水路に沿った面だけでなく、出入り口の橋の両端にも必要ではないかとの意見があり、検討するとの回答があった。



水路への転落防止柵を設置する八神里山住宅

老人福祉臨時管理費 257万円

養護老人ホーム「琴引の里」裏山の法面が、7月豪雨により一部崩壊したことから、災害復旧工事を行う。

地域包括ケア推進事業 827万円

高齢者福祉基本計画策定に要する検討委員会開催費用及び業務委託料で、最期まで住み慣れた地域で生活できる地域包括医療ケアの推進を図る。

健康増進施設頓原ラムネ銀泉経常管理費 189万円

電気代増加に伴う指定管理料の増額

【審査意見】

このたびの健康増進施設頓原ラムネ銀泉の運営費不足額189万円は、令和4年度中に発生していたものであり、今定例会で増額補正が提案されたことは大変遺憾である。

今後は、指定管理全般において、こうしたことが二度と生じないよう、業務推進を図りたい。

全員協議会の議題

令和5年8月3日(木)

- ①高齢者福祉基本計画策定の進め方
- ②学校給食の食材費物価高騰対策
- ③防災訓練のとりまとめ
- ④大雨による災害発生

令和5年9月21日(木)

- ①令和5年度飯南町総合振興計画等評価委員会の答申
- ②第3次飯南町総合振興計画及び第3期総合戦略の策定
- ③知事要望
- ④道の駅頓原周辺エリア整備基本計画
- ⑤教育環境基本方針住民説明会
- ⑥飯南町立小学校のいじめ事案

議会活動報告 [7月~9月]

- 7月6日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
- 11日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)
- 19日 総務厚生常任委員会・教育経済常任委員会・議会運営委員会
- 8月3日 臨時議会(議会構成替)・全員協議会
- 15日 飯南町二十歳のつどい
- 22日 町村議会議長会臨時総会
- 25日 雲南広域連合定例会・議会広報研修会

- 9月4日 教育経済常任委員会
- 6日 議会運営委員会(9月定例会の議案説明、日程などの協議) 議会広報常任委員会
- 11日 9月定例会：本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 委員会審査
- 19日 委員会審査
- 20日 本会議、委員会審査
- 21日 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
- 22日 本会議(委員長報告、討論、採決)
- 26~27日 町村議会広報研修会(東京)
- 28日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)

安来節で「地域愛」を育てたい

日本民謡協会・安来節保存会

八谷恵子さん（頼原）

とんぼらふる里夏祭りや志々公民館まつり、福祉施設の敬老会、地域のサロンなどで銭太鼓や三味線・唄などを披露している八谷さん（野坂流「野坂恵子」で活躍）は、町を元気に、そして観ている人を笑顔にしています。



とんぼらふる里夏祭りにて



笑顔が素敵な八谷さん

伝統文化を継承したい

安来節は、先人が残してきた大切な宝で、絶やしてはいけない島根の伝統文化です。飯南町でも根付いていた時代があるので、家で眠っている三味線もたくさんあるようです。子どもたちは保育所などで銭太鼓を体験しているし、そこで終わってしまうのはとても残念です。身近にふれる機会があれば、興味を持ってくれる子どもがいると思います。

失敗してもいいんだよ

今年度は、交流センターとんぼらで子ども向けの教室を開催しました。10月15日の公民館まつりでの発表に向けて

練習しています。練習では、技が上達するだけでなく、礼儀やマナーが自然と身につきます。

子どもたちに一番伝えたいことは、「間違えても、落としても大丈夫だよ」ということ。失敗しても止まらずに次に進むことの大切さを、民謡を通して学べたので、今度は私がそれを伝えていく番だと思います。

これからの目標は？

私が病気や挫折をした時、民謡の仲間がいたことで救われました。他地域の子も同士が民謡を通して交流し、刺激合う仲間となり、心のよきところになります。子どもたちにもそうしたつながりをつくって欲しいです。

民謡は年齢を問わずできるので、世代を超えて取り組めるといいなと思っています。高齢者と孫世代が一緒に舞台上に立つというのも素敵ですよ。ね。「練習している子どもたちの様子を見学に来てください」というお手紙を地域の人に出したいです。かわいい姿を見て



安来節も唄います



公民館まつりに向けて練習中

癒される、高齢者の楽しみの一つになるといいですね。観てもらい、褒めてもらえると、子どもたちのやる気も上がります。話し相手、相談できる人が地域にできるといいう相乗効果も期待できるので、「安来節を続けたいから地域に残る」という子を増やしたいと思っています。

今月の表紙写真



「介護職員の頃、『入浴が嫌だ』と言っていた人も、民謡を唄って楽しい雰囲気をつくると入ってくれることができました。安来節などの民謡は会話のきっかけにもなります。『子どもたちの発表の場をぜひうちで』という福祉施設からの声もいただいています。驚くような速さでご縁を広げている八谷さんからは、みなぎるパワーが感じられました。

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190